

目的界

0:マルウェアに対する【対策】を実施する。

1:マルウェアの被害発生リスクを包括的に軽減するための【対策】を実施する。

2:【色々な場面において】マルウェアの被害発生を防止する【対策】を実施する。

3:マルウェアの被害拡大を防止する【対策】を実施する。

4:マルウェアの被害からの回復のための【対策】を実施する。

5:【感染時の経済的損害の補償】をする。

6:再発の防止のための事後対策を行う。

7:マルウェアが侵入しにくくする。

8:脆弱性をなくす。

9:マルウェアの拡散防止を行う。

10:【ツール】を利用して、【媒介物】を介して送り込まれた【悪意のコード】を検知する。

11:速やかな復旧・回復が行えるように事前の対策を行う。

12:駆除を行いマルウェアを根絶する。

13:【入手経路】から入手した許可されない【資産】の使用を禁止する。

14:組織内部のすべてのユーザーに、【意識すべきこと】を意識させる。

15:事態収束後にマルウェアの感染について報告する。

16:再発防止のため、【振り返りの会議】を開催する。

17:ウェブ閲覧時にマルウェア感染防止のための【フィルタリング対策】をする。

18:【侵入防止】のため、ウイルス対策ソフトウェアを導入する。

19:【各種アプリケーション】のセキュリティ設定を適切に行う。

20:ホストの【強化措置】を行う。

21:【情報】に関する最新情報を入手する。

22:正しい情報とデマ情報を識別する。

23:【色々な対象】の脆弱性診断を実施する。

24:【色々な対象】の脆弱性を【適切に対処】する。

25:システムへの適切なアクセスを実現する【アクセス管理策】を導入する。

26:マルウェアの感染を報告する。

27:【検出】のため、ウイルス対策ソフトウェアを導入する。

28:ウイルス対策ソフトウェアを正しく設定する。

29:ウイルス対策ソフトウェアでスキャンする。

30:複数ベンダーが提供する、ウイルス対策ソフトを利用する。

31:ウイルス対策ソフトの定義ファイルおよびスキャンエンジンを【最新に保つ】。

32:プログラムやデータのバックアップを取得する。

33:プログラムのオリジナルファイルにはライトプロテクトを施して保管する。

34:システムの変更管理を行う。

35:【駆除】のため、ウイルス対策ソフトウェアを導入する。

36:保険を適用する。

37:【IPフィルタリングデバイス】を導入する。

38:ウェブ閲覧時にマルウェア検出のための【スキャン対策】をする。

39:ウイルス対策ソフトウェアで定期的なスキャンする。

40:ウイルス対策ソフトウェアでリアルタイムにスキャンする。

41:ダウンロードファイルに対してマルウェア検出のための使用前スキャンをする。

42:すべての電子メールの添付ファイルをスキャンし、疑わしい電子メールの添付ファイルを特定し、【処理】する。

43:取り外し可能な【記録媒体】上のファイルに対する、マルウェア検出のための使用前スキャンをする。

44:ウイルス対策ソフトウェアでローカルファイルを定期的なスキャンする。

対策の実現例

フィルタリングソフト

ウイルス対策ソフト製品

セキュリティ情報サイト

セキュリティ情報提供サービス

脆弱性スキャナ製品

ファイアウォール製品

ウイルス対策ソフト製品

ウイルス対策ソフト製品

保険サービス

